

登録コード	E8262400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究				担当教員	篠崎 正典	
英文授業名	Graduation Study				副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	・日本語および外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる【言語能力】 ・多様な情報を適切に取捨選択し、分析・活用できる【情報活用力】 ・みずから問題を見出し、すじみちを立てて解決できる【問題発見・解決能力】	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・3年次までの学習をもとに、さらに深く文献を読み込むことができる。 ・論文作成作業と卒論発表のプレゼンテーションを通じて、論理的な文章の作成とわかりやすい構成ができるようになること。 ・文献収集、データ収集を行い、必要な情報を適切に活用できるようになること。 ・問題を発見し、論理的な追究ができるようになること。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、次に示すのプロセスを通して、社会科教育の論文作成に必要な研究方法を学ぶ。①研究テーマの設定、②研究方法の検討、③調査・研究の実施とデータの分析、④研究論文の執筆、⑤研究発表と討論。						
(5)授業計画	第1、2回：問題意識に基づく文献の収集と報告 第3、4回：先行研究の検討 第5、6回：研究テーマの設定 第7回：各研究テーマに関わる研究方法の検討（1）－基本文献の購読 第8回：各研究テーマに関わる研究方法の検討（2）－研究方法の報告 第9、10回：調査・研究の実施と報告（1）－文献研究 第11、12回：調査・研究の実施と報告（2）－調査研究 第13~17回：調査・研究で得たデータ分析 第18回：研究論文の構成の検討 第19回：研究論文の執筆と報告（1）－序章の報告と検討－ 第20回：研究論文の執筆と報告（2）－第1章の報告と検討－ 第21回：研究論文の執筆と報告（3）－第2章の報告と検討－ 第22回：研究論文の執筆と報告（4）－第3章の報告と検討－ 第23回：研究論文の執筆と報告（4）－終章の報告と検討－ 第24回：研究の全体の再検討 第25回：「卒業論文要旨集」原稿の報告と検討 第26回：「卒業論文要旨集」修正原稿の報告と検討 第27回：「社会科教育コース卒業研究発表会」の報告の予行練習 第28回：「社会科教育コース卒業研究発表会」での報告 ※授業最終回に授業アンケートを行う。 ※本授業では、教育実習等と日程が重ならないように、スケジュールの調整を行う。						
(6)成績評価の方法	・卒業論文（60％）、取り組みの過程（20％）、最終発表会または報告会（20％）によって評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	<社会科教育コース卒業論文評価基準>（コース共通） 1. 先行研究を踏まえているか（検索、収集、理解など） 2. 研究方法是適切か（データ収集・分析、フィールド、文献（論文、史料、資料）の扱い方など） 3. 独自性があるか（テーマ、問題設定、視点、発見、考察など） 4. 論旨は明確か（論理性、表現など） 5. 形式は整っているか（構成、分量、誤字・脱字、注、文献リストなど） 6. 研究倫理は守られているか（合法性、引用ルール、コピペ禁止など）						
(8)事前事後学習の内容	・【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備すること。また、研究課題に関連した文献等を、図書館等で検索・収集し、研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり、吟味したりすること。 ・【事後学習】質疑応答・討議を通じて生まれた課題について、事後に各自で調べて再検討すること。 ・この授業は225時間の学修を必要とする内容である。したがって、150時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	・研究室所属の学生は、必ず受講すること。 ・必要に応じて指導教員や研究室所属学生との意見交換や相談を行いながら、自律的に研究を遂行すること。						

(10)質問, 相談への対応及び連絡先	研究室、随時、mshino@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	指定しない。
【参考文献】	・小笠原 喜康『最新版 大学生のためのレポート・論文術（講談社現代新書）』講談社、2018年。 ・日本社会科教育学会編『社会科教育事典（第3版）』ぎょうせい、2024年